

五島列島紀行(その3) Oceanに乗って奈留島に渡る

2021-4-23 池田良穂

五島市営船の「喜代丸」という船が前島航路に就航していることを把握していましたが、福江島周辺には前島が見つかりません。よく調べてみると奈留島から出る航路で、かつて奈留島は奈留島町だったのが、福江市等と一緒に五島市となり、町営船から市営船に変わったことを知りました。同船を撮影するためには奈留島に行く必要がありますが、幸いなことに新造フェリー「オーシャン」が奈留島に行っています。これで同船への初乗船も果たせることになりました。

2日目午前中の福江島での撮影を終えて、福江港13時発の「オーシャン」に乗船しました。所要時間は45分、運賃は800円でした。

乗船してみると、とても離島航路船とは思えぬ立派な船内でした。展望の良い客室には、椅子席がゆったりと配置されており、もちろんオープンデッキにも乗ることができます。

45分の快適な航海で奈留島港に到着しました。着いたのは結構立派な岸壁で、ターミナルの建物も立派でした。到着した岸壁の隣に小型船用の浮棧橋があり、そこに市営船「喜代丸」が停泊していました。ここから前島まで、毎日3便運航しています。

奈留島港内には、「オーシャン」の就航に伴い引退した「フェリーオーシャン」が係船されていました。また、たくさんの海上タクシーの姿もありました。



福江港に並ぶ「オーシャン」(左)と「フェリーひさか」です。下五島の離島航路に就航するカーフェリータイプの2隻です。



新造船「オーシャン」に乗船しました。エントランスには、オーシャンの図面が飾られていて、なかなかお洒落な内装でした。

フェリーオーシャン		主要目		S=1/50
全長	49.90m	全幅	43.00m	
喫水	9.80m	吃深	3.70m	
総トン数	396トン	主機	1800PS X 2基	
最大速力	16.852ノット	最大速力(85%)	15.950ノット	
乗客定員	198名	乗務員	6名	
積載能力	204名	積載能力	大型バス(トラック) X 2台、乗用車 X 4台	

船主 五島旅客船株式会社
建造所 株式会社 井筒造船所

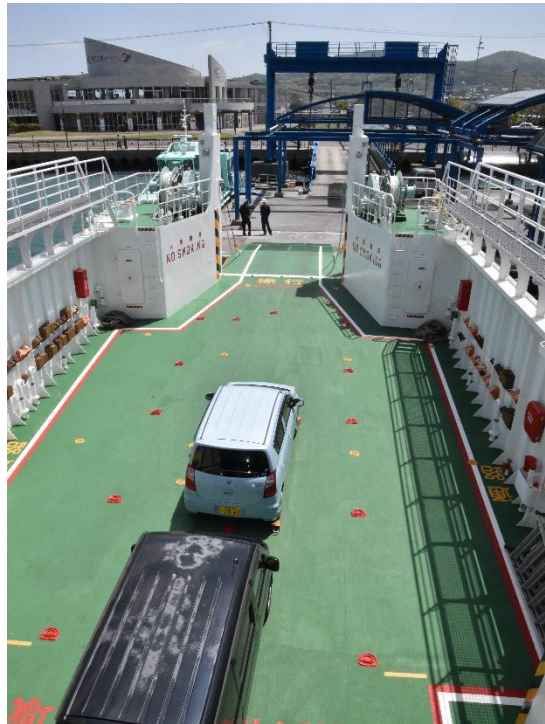
客室スペースに上る階段の壁には、前船「フェリーオーシャン」の模型が飾られていました。随所から船に愛情をもつオーナーの心遣いが感じられました。



客室は広々としていて、前方に椅子席、後方に絨毯敷きのスペースがありました。



幼児用のスペースもありました。



客室のデッキから覗いた車両甲板です。



オープンデッキは、灰皿があるだけです。たぶん喫煙スペースという位置づけなのでしょう。座れる椅子があれば、快適な船旅を満喫できそうですが、それと筆者にとっては、船首への通路が閉鎖されているのが残念でした(下の写真)。





奈留島の港内には引退した「フェリーオーシャン」がつかわれていました。



隣接する浮棧橋に、前島航路の市営船「喜代丸」が停泊していました。奈留島港と前島の笠松・江之浦港を毎日3往復しています。笠松までは7分、江之浦港までは15分の航海です。



奈留島の港内には、海上タクシーがたくさん係留されていました。ちなみに、奈留港から福江港までの料金は約15000円とのこと。20人乗ると、ちょうど定期船のほぼ同じ料金になります。



福江への帰りには高速旅客船「ニューたいよう」に乗船しました。航海時間はフェリーより15分短い30分。料金は800円で同じでした。



建造は2000年で佐世保の沖新船舶での建造でした。船齢はもう21年なので、代替も間近でしょうか。



「ニューたいよう」の船内です。



福江港に戻ると、続いて RORO 貨物船「マリンエース」が入港してきました。



福江港の近くの鬼岳の展望台に登ってみました。ここからは福江港がよく見えます。



再び福江港に戻ると、高速旅客船「おうしま」が戻ってきました。



福江の 2 日目の締めは九州商船の「樁」の入港シーンの撮影でした。